

衛研第3 - 20号
平成28年 8月17日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 結核の届出状況（月報）
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 32 週（平成 28 年 8 月 8 日～平成 28 年 8 月 14 日）

今週は、夏季休暇の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。

なお、今週報告があった定点医療機関数は、インフルエンザ定点が 212 カ所(指定定点数 255)、小児科定点が 135 カ所(指定定点数 162)、眼科定点が 28 カ所(指定定点数 41)でした。

今週の注目される疾患 図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 5 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 2 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人、急性脳炎 1 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 3 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、ほとんどの小児科定点対象疾患の定点当たり報告数が、前週を下回った。ヘルパンギーナ(5.79 3.82 : 図 1)の定点当たり報告数は、2 週続けて減少したが、未だ多い状況にある。保健所別では全保健所管内から報告があり、朝霞(8.75)、加須(6.40)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 1~4 歳で全体の 70.0%を占めている。RS ウイルス感染症(0.31 0.24 : 図 2)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。保健所別では、越谷市(1.00)、川口(0.73)保健所管内からの報告が多い。流行性耳下腺炎(1.31 0.96 : 図 3)の定点当たり報告数は、前週より減少した。保健所別では、狭山(2.18)、幸手(2.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎 17 人(前週 17 人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 12 人、クラジミア肺炎 1 人の報告があり、前者は前週(5 人)より増加した。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5 人(類型 無症状病原体保有者 5 人、血清型 O157 2 人、O26 3 人)
四類感染症	E 型肝炎	2 人(推定感染地域 国内 2 人)
	レジオネラ症	2 人(病型 ポンティアック熱型 1 人、無症状病原体保有者 1 人)
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 人(菌種 <i>Klebsiella</i> sp.1 人、 <i>Citrobacter</i> sp.1 人)
	急性脳炎	1 人(病原体 不明)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人(病型 孤発性)
	後天性免疫不全症候群	2 人(病型 AIDS 2 人)
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	3 人(病型 早期顕症 期 1 人、晩期顕症 1 人、無症状病原体保有者 1 人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 ヘルパンギーナ

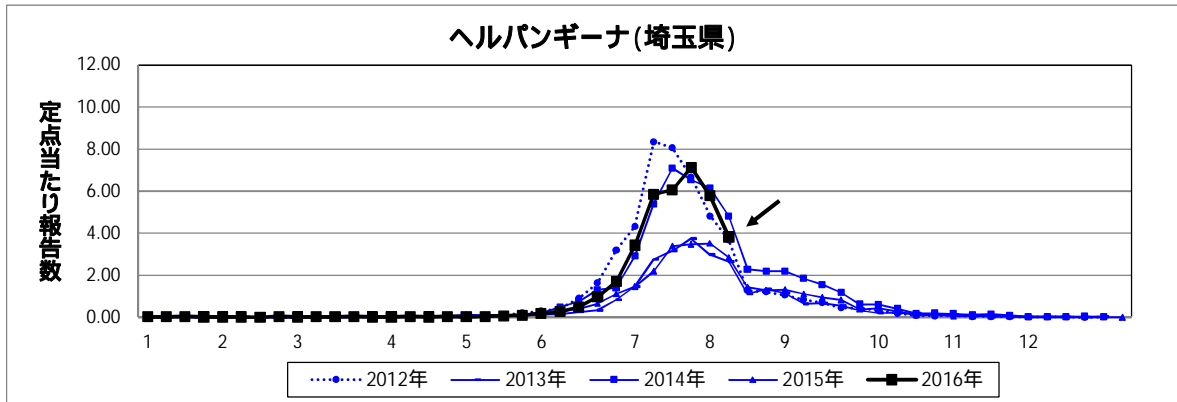


図2 RSウイルス感染症

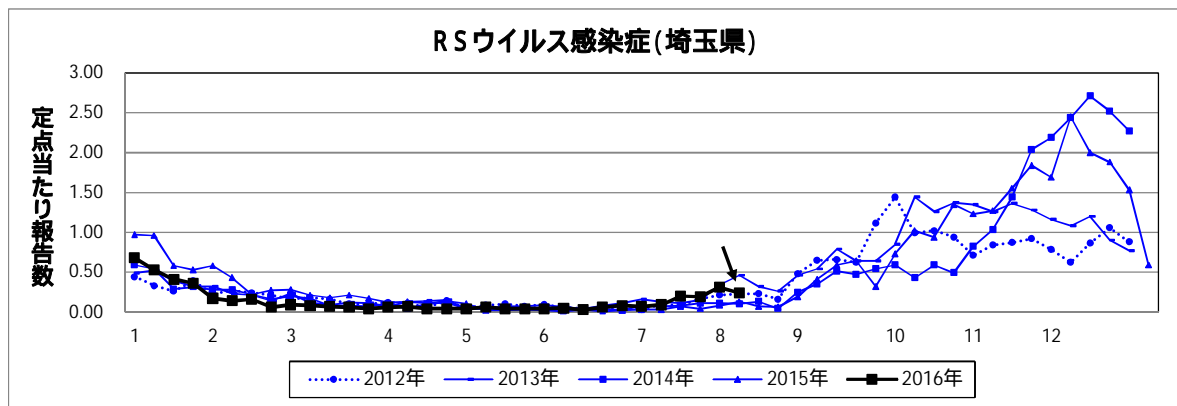
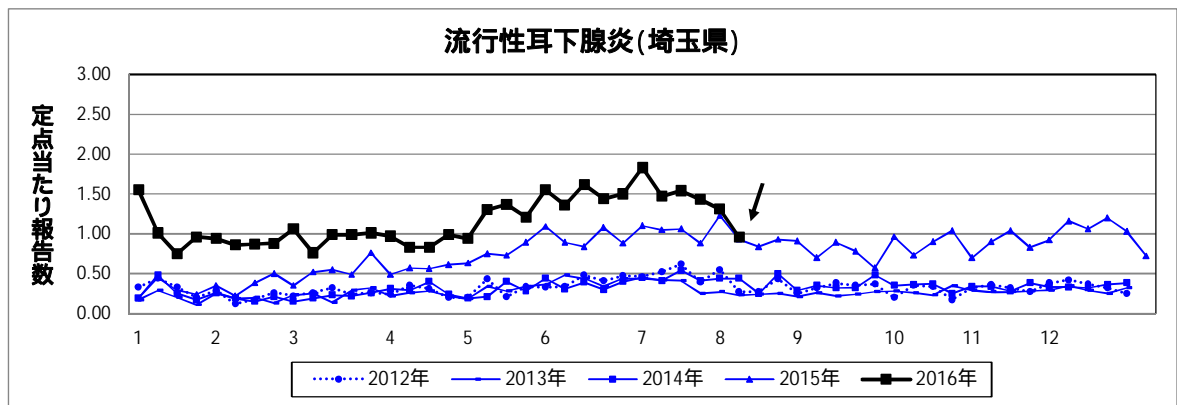


図3 流行性耳下腺炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第32週)

(2016年8月16日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		7	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	85			
四類感染症					
E型肝炎	2	13	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		5	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	51
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		34	侵襲性肺炎球菌感染症	1	68
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘*		7
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	27	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	31	梅毒	3	95
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		4
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5	破傷風		3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		14	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	28	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		6
ジアルジア症		1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		3
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(7月分)

7月の届出数は、患者86人、疑似症患者2人、無症状病原体保有者39人の計127人で、前月の126人と同水準で、前年同月の116人より増加した。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年7月～2016年7月)

	2015年*						2016年							累計**
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
総計	116	124	99	111	80	116	129	115	106	102	106	126	127	811
年齢階級														
10歳未満	6	0	1	3	1	7	2	2	1	1	3	5	3	17
10歳代	1	10	0	1	0	1	1	5	0	1	2	2	1	12
20歳代	9	6	10	13	4	8	4	12	8	17	17	13	20	91
30歳代	11	9	9	11	5	16	7	8	9	8	6	8	9	55
40歳代	11	15	11	8	11	6	13	22	15	7	9	13	14	93
50歳代	10	23	11	9	13	13	14	8	7	10	10	14	14	77
60歳代	17	13	21	16	13	16	26	16	16	10	18	18	16	120
70歳代	26	17	23	18	15	27	32	16	25	25	19	20	13	150
80歳以上	25	31	13	32	18	22	30	26	25	23	22	33	37	196
性														
男	68	68	64	73	43	61	72	71	66	59	58	80	75	481
女	48	56	35	38	37	55	57	44	40	43	48	46	52	330
類型														
患者	81	85	57	85	63	83	70	77	73	83	71	88	86	548
感染症死亡者の死体	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
疑似症患者	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	2	7
無症状病原体保有者	34	39	39	26	17	33	56	38	33	17	33	37	39	253
病型														
肺結核	65	66	44	63	48	55	43	58	51	62	54	60	72	400
肺結核及びその他の結核	2	3	3	7	4	5	6	7	7	5	4	3	3	35
その他の結核	14	16	11	15	11	23	22	12	15	16	14	26	11	116
疑似症患者	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	2	7
無症状病原体保有者	34	39	39	26	17	33	56	38	33	17	33	37	39	253

*:2015年の届出数は暫定値

** :2016年1月からの累積届出数

7月に診断された127人を病型別にみると、肺結核では10歳未満を除く年齢階級から届出があり、80歳以上の29人が最も多く、無症状病原体保有者では10歳代を除く年齢階級から届出があり、20歳代が最も多かった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年7月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	72	3	11	2	39	127
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	3	3
10歳代	1	0	0	0	0	1
20歳代	4	1	1	0	14	20
30歳代	5	0	0	0	4	9
40歳代	8	0	2	0	4	14
50歳代	9	0	0	0	5	14
60歳代	7	0	1	1	7	16
70歳代	9	1	1	1	1	13
80歳以上	29	1	6	0	1	37

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数										保健所別										平成28年8月8日～平成28年8月14日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)																			
全	32	25	149	408	39	84	13	53	1	516	130	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
川	0.24	0.19	1.10	3.02	0.29	0.62	0.10	0.39	0.01	3.82	0.96	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	11	3	13	72	4	5	-	2	-	56	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.73	0.20	0.87	4.80	0.27	0.33	-	0.13	-	3.73	0.73	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	9	25	45	-	6	1	7	105	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	0.75	2.08	3.75	-	0.50	0.08	0.58	-	8.75	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1	-	14	16	6	13	4	3	-	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.10	-	1.40	1.60	0.60	1.30	0.40	0.30	-	2.50	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	12	8	1	-	-	-	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	2.40	1.60	0.20	-	-	-	0.20	1.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	2	1	-	1	-	-	4	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	0.50	0.25	-	0.25	-	1.00	-	2.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	25	59	2	3	2	2	-	35	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	3.57	8.43	0.29	0.43	0.29	0.29	-	5.00	1.00	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	1	-	2	3	1	1	-	32	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	0.20	-	0.40	0.60	0.20	0.20	-	6.40	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	-	0.40	-	-	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	3	14	2	2	6	-	1	23	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.17	0.50	2.33	0.33	0.33	1.00	-	0.17	-	3.83	2.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1	-	2	13	4	3	-	2	-	18	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.17	-	0.33	2.17	0.67	0.50	-	0.33	-	3.00	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1	2	3	2	-	11	-	-	-	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.14	0.29	0.43	0.29	-	1.57	-	-	-	2.57	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	3	4	15	54	3	6	1	10	49	37	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.18	0.24	0.88	3.18	0.18	0.35	0.06	0.59	0.06	2.88	2.18	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	1	11	20	1	3	-	5	-	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	0.13	1.38	2.50	0.13	0.38	-	0.63	-	2.50	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	6	3	4	11	5	5	2	4	-	25	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1.00	0.50	0.67	1.83	0.83	0.83	0.33	0.67	-	4.17	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	8	-	6	103	9	19	2	10	-	89	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.42	-	0.32	5.42	0.47	1.00	0.11	0.53	-	4.68	1.63	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

8月 16日

13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第32週 平成28年8月8日～平成28年8月14日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
	32	5	7	13	4	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	25	-	1	3	2	2	3	3	4	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	149	-	-	5	11	12	24	17	16	11	17	10	19	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	408	5	35	62	51	32	31	37	26	18	15	16	26	6	48	-	-	-	-	-	-
水痘	39	1	3	-	4	5	6	4	6	3	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	84	2	10	30	12	13	8	3	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	-	-	1	-	2	4	1	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	53	1	14	32	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	516	2	41	138	86	77	60	52	20	17	11	3	5	-	4	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	130	-	-	2	4	11	9	21	24	15	13	10	21	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	17	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	2	5	3	1	2	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	12	-	2	2	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 30週

(7月25日～7月31日)

平成28年8月17日

インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.45)、鹿児島県(0.08)、大分県(0.07)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1例と前週と比較して減少した。

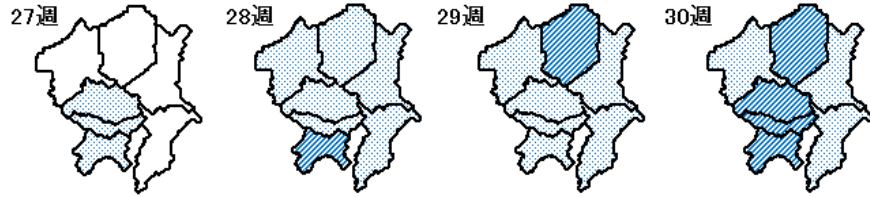
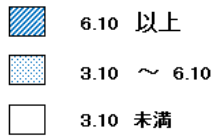
RSウイルス感染症の報告数は835例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(1.14)、沖縄県(1.09)、高知県(0.93)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岩手県(3.40)、千葉県(3.16)、大分県(3.08)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.86)、徳島県(7.78)、鹿児島県(5.95)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.55)、埼玉県(0.53)、北海道(0.48)、福島県(0.48)である。手足口病の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.33)、千葉県(2.47)、沖縄県(2.26)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.03)、奈良県(0.97)、島根県(0.87)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.92)、新潟県(2.66)、富山県(2.62)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岐阜県(4.00)、福岡県(2.53)、宮崎県(2.14)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。6府県から6例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(4例)、10代(1例)であった。

<関東情報>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、埼玉県(7.12)、栃木県(6.58)、神奈川県(6.51)、東京都(6.17)からの報告が多い。

ヘルパンギーナ



平成28年 30週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	92	25	1	2	-	4	3	5	10
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	0.03	-	0.02	0.01	0.01	0.03
RSウイルス感染症	報告数	835	167	4	-	4	31	33	66	29
	定点当たり	0.26	0.18	0.05	-	0.07	0.19	0.24	0.25	0.14
咽頭結膜熱	報告数	1,479	419	32	5	25	87	50	141	79
	定点当たり	0.47	0.44	0.43	0.10	0.43	0.54	0.37	0.54	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,581	1,867	97	43	155	303	426	512	331
	定点当たり	1.77	1.97	1.29	0.90	2.67	1.88	3.16	1.98	1.58
感染性胃腸炎	報告数	11,793	3,511	260	51	182	696	416	1,196	710
	定点当たり	3.73	3.71	3.47	1.06	3.14	4.32	3.08	4.62	3.38
水痘	報告数	983	349	18	6	14	85	48	84	94
	定点当たり	0.31	0.37	0.24	0.13	0.24	0.53	0.36	0.32	0.45
手足口病	報告数	2,246	1,050	81	62	12	154	334	225	182
	定点当たり	0.71	1.11	1.08	1.29	0.21	0.96	2.47	0.87	0.87
伝染性紅斑	報告数	889	208	7	40	30	22	36	39	34
	定点当たり	0.28	0.22	0.09	0.83	0.52	0.14	0.27	0.15	0.16
突発性発しん	報告数	1,675	477	15	25	26	105	68	134	104
	定点当たり	0.53	0.50	0.20	0.52	0.45	0.65	0.50	0.52	0.50
百日咳	報告数	90	18	-	-	3	4	2	6	3
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	0.05	0.02	0.01	0.02	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	12,157	5,797	265	316	349	1,146	754	1,599	1,368
	定点当たり	3.85	6.13	3.53	6.58	6.02	7.12	5.59	6.17	6.51
流行性耳下腺炎	報告数	4,128	1,110	80	30	49	230	141	257	323
	定点当たり	1.31	1.17	1.07	0.63	0.84	1.43	1.04	0.99	1.54
急性出血性結膜炎	報告数	6	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	582	260	27	11	11	24	34	39	114
	定点当たり	0.84	1.26	1.59	0.92	0.79	0.59	0.97	1.00	2.33
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	35	7	-	3	-	1	1	1	1
	定点当たり	0.07	0.09	-	0.43	-	0.10	0.11	0.04	0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数	470	66	9	3	11	7	10	21	5
	定点当たり	1.00	0.81	0.69	0.43	1.38	0.70	1.11	0.84	0.56
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第32週

感染症発生動向調査 2016年

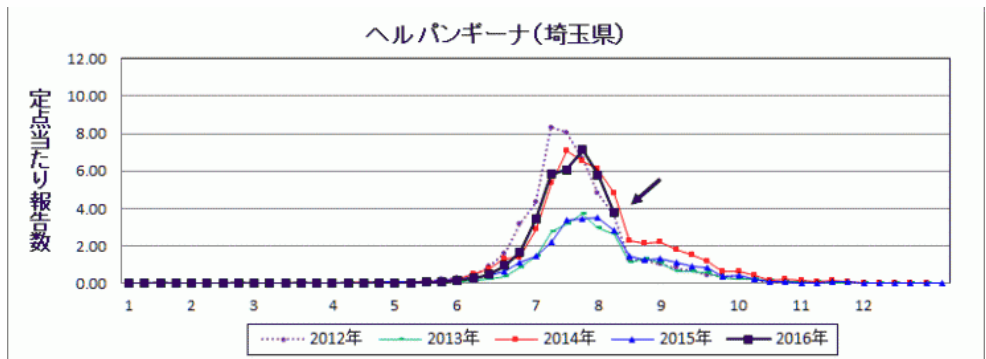
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第32週](#)

感染症の流行状況 2016年 第32週

2016年第32週（平成28年8月8日～8月14日）の要点 平成28年8月17日

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、前週より減少したものの、今しばらくは注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	↓	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★	ヘルパンギーナ	↓	★★★
感染性胃腸炎	↓	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★★★
水痘(みずぼうそう)	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↓	★★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)をご覧ください。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン